

のぐち 英一郎

災害に強い地域づくり、福祉と文化で経済も元気よく！

無所属・鹿児島市議会議員



小学生の頃は、新聞を読んで、世の中の「不条理」について考えることが多かったです。

「正しい人か、若ともんか、どうにか。」

「思える、なげを、行動を、活動すること、必要なんだ。」

「願った、大事な事をどこに持って行くは、より効果的に受けとることも、なろう？」

札幌生活で社会をより良くするための「社会運動」に取り組む人たちと出会い、様々な「市民活動」やボランティアに参加するようになった。

署名や住民投票など直接的な方法にもチャレンジ。

政治家の考えや政治の仕組みも難しい。

しかし、これが意外と難しい…。まちづくりにもっと広く深くかかわりたい。

「声」を実現する自治体議員を目指そう！

なかなか届かない小さな声届けたい

弱者に寄り添い、真の必要を実現させたい

目先の利益だけでなく、自然や未来を大切にしたい

自分か、何を、なすべき政治家にならばいいんだ。

「自分か、何を、なすべき政治家にならばいいんだ。」

「より良い社会のために！」

初心を忘れることなく、様々な活動を通じて、実際に体験し、感じる「生の声」を政治に活かし実現するために、日夜奮闘しています。

そして「人工島住民投票運動」をへて、平成12年に鹿児島市議会議員選挙で無所属で最年少初当選。

失敗すること、目の前の困難、前進。

「やっほ、やっほ。」

のぐちの理念は「みどりの政治」

みどりの政治とは…

1. エコロジカルな知恵
2. 社会正義
3. 参加型民主主義
4. 非暴力／平和
5. 持続可能性
6. 多様性の尊重





ひとりひとりに寄り添う福祉の実現 よく歩いてよく見るよく聞く！

子どもの頃、椋鳩十、シートンの本を愛読していました。動物や自然と関わる生き方への憧れは、環境問題に対する意識へと広がりました。命をいただき続く暮らし、田畑の実り。私たちが自然からいただく恵みは、自然の回復や時間の流れに添って、返すことができる分だけにしなくてはならない。「**持続可能な福祉社会**」の実現を目指す私は、そう考えています。

2011年3月より、福島第一原発の事故による被曝回避の疎開を、17人サポートしました。5月には、被災地で復興支援のボランティアとして汗を流しました。年間自殺者は3万人を超え、生活保護受給者数は戦後最高の約206万人。20代から50代も高い伸びです。

「311以降の生き方」は**天災とエネルギーに真剣に向き合って、地域づくりをすすめる必要がある**と感じます。

鹿児島市議会で、これからのまちづくり10年間の土台である、第5次総合計画を議決しました。まちの風景に責任を果たすため、言葉と行動を、ひとつひとつ重ねていきます。

まちの未来をご一緒に考えてつくりましょう。皆さまの力をわけてください。

のぐち英一郎プロフィール

昭和46(1971)年、伊集院町で生まれる。玉江小、伊敷中、甲陵高人文科、札幌大英語学科卒業。(株)インハウス久永勤務、元参議の中村敦夫秘書、人工島住民投票運動を経て、平成12(2000)年に無所属最年少で初当選。市政においては持続可能性・男女平等・多文化共生・メルマガ配信・自転車政策の先駆け。

平成23(2011)年3月から疎開受け入れ開始。5月には被災地ボランティアに奔走。あらゆる世代のお困り、苦しい、寂しい、きつい、に寄り添い社会課題の改善解決に取り組む。

地元の玉里団地では矢上有志の会(おやじの会)、PTA会長、伊敷中同窓会副会長としても活力ある地域づくりに全力投球。読書・音楽・映画・外遊びがあふれる元気なまちづくり、脱原発社会実現に22年間取り組み、食とエネルギーとケアの自給的な暮らしによる足腰の強い地域づくりが目標の40歳

こんな活動に参加し続けています。

市民よろず相談／ホームレス生活者おにぎり支援／ママと子どもを放射能から守る会かごしま／うつくしま福島の会／NPO法人かごしまホームレス生活者支えあう会(理事)／ビッグイシューかごしまサポーターズ／甲突川ウォッチング／生命のまつり／アースデイかごしま／オーガニックフェスタ／矢上有志の会



2011年5月、宮城県牡鹿半島、津波で被害を受けた漁村の片づけ作業

反原発トラクターデモの後に県庁前で演説



災害対策の総点検と人と自然にやさしいまちづくり

のぐち英一郎の原点は**環境問題への危機感**です。

3.11を踏まえて桜島大噴火や、川内原発の廃炉を視野に、**自然との共生と災害後の立ち直りを土台にしたまちづくり**へこれまで以上に取り組みます。(小規模分散発電へ。非常時の命綱と食育を兼ねて公園や校庭などに果樹と野菜を植えましょう)

大規模事業など、税金の使われかたを市民目線でチェック！

いつのまにか決められて、私たちが知らないまま進んでいる気がする**税金の使途を厳しくチェック!** 天文館シネマは当初の計画より6億円の予算節減につながりました。議員年金も公約通り廃止とできたのは3期目の大きな成果です。

実感できる住民自治へ一歩ずつ。より身近で開かれた、行政と鹿児島市議会を作ります。(議員の給料、議員の数、時代に合わせて厳しくスリム化・人工島・西別館・防災行政無線・市営バス委託・ドクターヘリ・天文館公園再整備・魚と野菜の市場統合・市電延伸)

こまった時に一人にしません

一人暮らしのお年寄り、子育ての孤立、DV、無縁社会のひろがり、孤独死、貧困の連鎖、毎年3万人を超える自殺者、約206万人の生活保護受給、景気の低迷、いじめ、引きこもり、バリアフリー、ノーマライゼーション、老々介護……現場を歩き直接、声を聞いています。



生活保護の申請同行、夜回りや炊き出しなど**現場主義**を通して**お一人おひとりの課題の改善と解決**に取り組みます。

(経済的に厳しい家庭の小中学生の勉強をサポートします。仮称 寺子屋プロジェクト)

平和な暮らしをこれからも

お互いが支えあって今を生きています。

男女平等、多文化共生、草の根外交、在住外国人の生活相談、子どもの人権、里親制度の普及、南北問題の学習と支援、**お互いの違いを認めあい、共存し包み込む社会**を作しましょう。憲法9条、25条を実感できるまちを。「みんなちがってみんないい」。そしていつまでも続けられる平和なまちを!!



読書と音楽と映画あふれるまちづくり

文化の豊かさによる、まちづくりの意識は老若男女を問わず日常の中でゆっくと育まれます。のぐちは堅苦しい勉強会ばかりではなく「まちづくり」という観点から映画やお芝居、音楽などをメインにしたイベントに多く取り組んできました。

鹿児島らしいイベントを通して**地域をまちを元気に**していきます。

無所属・鹿児島市議

のぐち英一郎

〒892-0811 鹿児島市玉里団地3-12-7

●電話 / 099-806-0565

●メール eiichiro-n@po2.synapse.ne.jp

●ホームページ <http://www2.synapse.ne.jp/entaku/>

●携帯 / 090-5489-4806

★フェイスブックやっています メルマガ好評配信中